

複式学習指導実践事例 (算数)

3年 「かけ算」 (本時3/9)

4年 「わり算」 (本時2/5)

目標

3つの数をかける場面が分かり、3つの数をかけるときには、かける順序を入れ替えても答えが同じになることを説明できる。

除数が同じ除法の式から、除法のきまりを見付けることができる。

| 過程 | 教師の指導と評価 | 位置時間 | 主な学習活動 (第3学年) | 主な学習活動 (第4学年) | 教師の指導と評価 | 過程 | |
|-----|--|------|---|--|---|--|-----|
| つかわ | <p>学び方を身に付ける</p> <p>間接指導時に充実した学習を進めるために、「ガイド学習」を取り入れる。</p> <p>ガイド役の児童には、事前に学習の進め方を指導するとともに、他の児童にも学習の手順や進め方、目安の時間を提示しておく。</p> <p>前時までの学習との関連性を明確にして課題を把握させる。</p> | 1 | <p>1 学習方法を確認する。 学習の進め方を確認する。 「めあてをつかむ→見通しを立てる→自力解決→発表する」繰り返して整理とまとめ</p> <p>2 学習課題を知る。 えんぴつを3本ずつのたばこにして、1人に2本ずつくばります。5人にくばるには、えんぴつはぜんぶで何本いるでしょうか。</p> <p>(1) 分かっていないことと求めることを確かめる。 (2) 立式する。</p> <p>3 学習課題を焦点化する。 2つの式ができたときの計算の仕方を考えよう。</p> | 1 2 | <p>1 これまでの復習をする。 練習問題に取り組み、答え合わせをする。</p> <p>2 学習課題を知る。 □個のチョコシートを1人に3こずつ分けると何人に分けられるでしょうか。</p> <p>(1) 課題の内容を把握する。 (2) 立式する。</p> <p>3 学習課題を焦点化する。 わられる数と答えのきまりを見つけよう。</p> <p>4 解決の見通しを立てる。 わられる数と答えの増え方にきまりがないか調べる。 わられる数が変わるとどうなるか調べる。</p> <p>5 自力解決をする。 半具体物や線分図を使って考える。 □が増えると答えがどうなるだろうか。 □が2倍になると、答えも2倍になる。 □を÷2にすると答えも÷2になっている。 ※ ヒントカードを参考に自力解決する。 (2) 考えをボードにまとめる。</p> <p>6 それぞれの考え方を発表し、話し合う。 半具体物や線分図を使って考える方法を取り上げ、それぞれを関連付けて考える。</p> <p>7 学習のまとめをする。 わられる数を2倍すると答えも2倍になる。また、わられる数を2でわると答えも2でわった数になる。</p> <p>8 練習問題を行い、解答する</p> <p>9 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 (1) 振り向きカードに記入する。 (2) 次時の学習内容を知る。</p> | <p>すらしの設定</p> <p>導入時に4年生は小テストなどの復習の時間を設け、指導過程をすらしことにし、3年生の直接指導を行えるようにする。</p> <p>○ 計算問題を複数準備し、計算が確実に処理できるかどうか確認させる。</p> <p>○ ガイド役に事前に指示しておき、答え合わせをさせる。</p> | つかわ |
| 見通す | <p>○ 児童と教師とのやりとりにより、解決への見通しをもたせる。</p> <p>○ 自分の考えがもてた児童には、他の方法で解決できないか考えさせる。</p> <p>◎ 絵や図を使って乗法のきまりを説明できる。</p> <p>「わたり」後の直接指導</p> <p>☆ 間接指導後の直接指導で個別に指導した児童の達成状況を確認する。 明確なまとめが、明確な評価を可能にする。</p> <p>○ 練習用プリントを用意する。 ○ 小黒板を準備し、考え方を書かせて提示させる。</p> <p>○ 自己評価カードに記入させる。 ○ 次時の学習課題の内容を知らせる。</p> | 12 | <p>5 自力解決をする。 (1) 一人で考える。 絵や図を使って考える。 1人分のえんぴつの数に着目して考える。 束の数に着目して考える。 ※ 前時のノートを活用したり、ヒントカードを参考に自力解決する。 (2) 考えをボードにまとめる。</p> <p>6 それぞれの考え方を発表し、話し合う。</p> <p>7 学習のまとめをする。 かけ算は、じゅんじよをかえても、答えは同じになる。</p> <p>8 練習問題を行い、解答する。</p> <p>9 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 (1) 振り向きカードに記入する。 (2) 次時の学習内容を知る。</p> | <p>「わたり」前の直接指導</p> <p>☆ 確実な解決の見通しをもたせる。 ☆ 間接指導時の活動内容をしっかりと理解させ、自力解決できるよう指導を行う。</p> <p>○ 除法の決まりを進んで見つけ出そうとする。</p> <p>○ 自分の考えがもてた児童には、他の方法で解決できないか考えさせる。 ○ 考え方を書かせて、発表する準備をさせる。</p> <p>ガイドの指示に従って、解決結果を発表させる。</p> | 見通す | | |
| 調べる | <p>○ 児童と教師とのやりとりにより、解決への見通しをもたせる。</p> <p>○ 自分の考えがもてた児童には、他の方法で解決できないか考えさせる。</p> <p>◎ 絵や図を使って乗法のきまりを説明できる。</p> <p>「わたり」後の直接指導</p> <p>☆ 間接指導後の直接指導で個別に指導した児童の達成状況を確認する。 明確なまとめが、明確な評価を可能にする。</p> <p>○ 練習用プリントを用意する。 ○ 小黒板を準備し、考え方を書かせて提示させる。</p> <p>○ 自己評価カードに記入させる。 ○ 次時の学習課題の内容を知らせる。</p> | 8 | <p>6 それぞれの考え方を発表し、話し合う。 半具体物や線分図を使って考える方法を取り上げ、それぞれを関連付けて考える。</p> <p>7 学習のまとめをする。 わられる数を2倍すると答えも2倍になる。また、わられる数を2でわると答えも2でわった数になる。</p> <p>8 練習問題を行い、解答する</p> <p>9 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 (1) 振り向きカードに記入する。 (2) 次時の学習内容を知る。</p> | <p>○ 練習用プリントを用意する。 ○ 小黒板を準備し、考え方を書かせて提示させる。</p> <p>○ 自己評価カードに記入させる。 ○ 次時の学習課題の内容を知らせる。</p> | 調べる | | |
| まとめ | <p>○ 練習用プリントを用意する。 ○ 小黒板を準備し、考え方を書かせて提示させる。</p> <p>○ 自己評価カードに記入させる。 ○ 次時の学習課題の内容を知らせる。</p> | 8 | <p>8 練習問題を行い、解答する</p> <p>9 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 (1) 振り向きカードに記入する。 (2) 次時の学習内容を知る。</p> | <p>○ 練習用プリントを用意する。 ○ 小黒板を準備し、考え方を書かせて提示させる。</p> <p>○ 自己評価カードに記入させる。 ○ 次時の学習課題の内容を知らせる。</p> | まとめ | | |